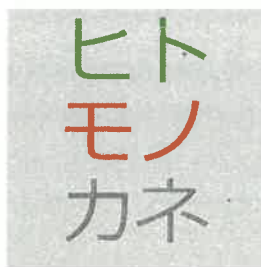


都市と農村をつなぐ～鳥獣対策の多様なかわり方

担い手不足という共有課題

鳥獣被害を地方や農村社会
だけの問題にしない

地方から → 都会へ → 地方へ



【モノ・カネ】クラウドファンディング5回開催

kibidango プロジェクト 2016年10月10日 開始 2016年11月27日 終了

くまもと☆農家ハンター50人の挑戦「イノシシ被害から地域と畑を守りたい！」
by 農家ハンター 10名 10名

プロジェクト 2016年10月10日 開始 2016年11月27日 終了

目標金額 ¥1,059,000
サポーター 89人

くまもと☆農家ハンター

日本全国で増え続けるイノシシの被害被害。私たちが住む熊本県でも被害が拡大しています。



¥2,645,000

サポーター 95人

目標は ¥2,645,000 までを定めています。
プロジェクトは 2016/02/28 に達成し
2016/02/28 に終了しました。

フォローする 14

プロフィール

農家ハンター 高田 裕子

花農家の三代目として地味な野菜を、戸
動員生ずの39歳。自給自足で暮らす。

目標金額 1,266,769円
目標達成!

¥1,266,769円
¥目標金額 1,200,000円

達成率 105%
支援人数 177人
終了まで 0分

くまもと☆農家ハンター



支援金額 目標達成!

3,500,560円
目標金額 3,500,000円

達成率 100%
支援人数 174人
終了まで 2日

絶品ジビエでみんなを驚かせたい!!
～亥年、農家ハンターが「ジビエファーム」で育てるよ～

Kibidango Farm Hunter
Gibier Farm

目標金額 1,210,000円
目標達成!

¥1,210,000円
¥目標金額 1,000,000円

達成率 121%
支援人数 144人
終了まで 0分

くまもと☆農家ハンター

農家ハンタープロジェクトのお礼品はメンバーが
育てた農産物セット ☆→ファン化&拡散

クラウドファンディングについて

感じたメリット

- 応援団が全国にできる
- 決意が固まり折れない心に
- 融資の際のプラス要素になる

たいへんさ、難しさ

- 他人に共感されお金をもらう難しさ
- 文章力、魅せ写真、webスキル
- バランスよい返礼品選び

私は現在大学で農学を学んでいます。

その大学の講義の中で獣害により離農者が増えているという現状を知り、自分に何かできることがないのかと思い今年狩猟免許を取得しました。取っては見たものの獣害が起きているのは自分の住んでいる地域とは全く別の遠い地域であったり、周りに狩猟の技術を教えてくれる人がいなかったりと自分がこの問題に直接関わるのは不可能だと考えていました。

それならばどうしたらいいものかと色々と考えていたときにたまたまこのプロジェクト 見つける事ができました。今回のプロジェクトを考えてくださり本当に感謝しています。獣害対策は動物愛護の考えなどから世間の目が厳しいかと思いますが、頑張ってください応援しています。

大学で出されたレポートの期限が今週末に迫っているため駄文になっているかとは思いますが失礼致します。

目標金額に到達しこのプロジェクトが成功することを心より祈っています。



【ヒト】たくさんの仲間や応援団ができた訳



【ヒト】使命感を持った活動に賛同

なんのために？ の明文化

地域と畑は自分たちで守る！

それが地域の担い手作り & 農村地域を守っていくことになる

食の多様性を守ることに繋がる

中山間地域の農業

狭い、機械化できない、儲からない

But 手のかかる野菜、季節の果樹など 旬の農産物を育てているのは中山間地域

一番の課題が獣害被害



【ヒト】産学官民との連携 行政

農水省 農政局



熊本県 えづけSTOP実践塾 & ジビエコンソーシアム

「えづけSTOP! 実践塾」を開講します
～令和元年度塾生募集のお知らせ！～

えづけSTOP! 実践塾とは？
OR地区は、県内で発生している農作物等への鳥獣被害の発生原因となる無意識に行っている野生鳥獣への「えづけ」を防止するために、様々な「えづけSTOP! 鳥獣被害対策」の正しい知識を習得し、地域の美観に沿った被害対策を実践できる人材育成を目的として開催しています（H23年度受講者35名、H20年度受講者81名）。

どんな講座内容なの？
①講義カリキュラム（4回）
ORが推進する「生態に優しい環境管理」「侵入・被害防止」「被害軽減対策」「農産物の活用」について学び、鳥獣被害への総合的対応について基礎を行います。
OR県と各農家ハンター等、実際の活動事例を通して、生産現場での課題等についての説明を行います。
全国トップレベルの講師による講義や現場実習を通じて、実践的な鳥獣被害対策技術の習得を行います。

Kumamoto Ovis Consortium
くまもとジビエコンソーシアム

水産部 企画振興課 2018
定 員 25名、35名、50名
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）
E-MAIL kumamoto@kumamoto-ovis.jp

トップページ コンソーシアムについて 活動紹介 お問い合わせ（事務局）

くまもとジビエコンソーシアム 熊本ブランドジビエの確立と普及、そして豊かなるさと作りを目指して。

【ヒト】産学官民との連携 大学・高校

熊本学園大学

- ・サミットの共催
- ・ジビエ料理開発



熊本大学

- ・地方創生論講義（非常勤講師）



東京農業大学

- ・新卒学生の採用
- ・共同研究の実施



日本大学

- ・出前授業@商学部（EC活用等）



県立工業高校

- ・鳥獣対策の授業
- ・箱罠の制作実習



県立商業高校

- ・全クラス家庭科でのジビエ料理



県立農業高校

- ・キャリア教育授業
- ・実習生受け入れ



私立普通高校

- ・出前授業（野生動物との関り）



【ヒト】産学官民との連携 高校生の地域貢献



【ヒト】小学生を通じた地域＆親への波及



【ヒト】全9回（約3000人）の公開セミナー開催



AWARD DESIGN
AWARD 2019



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2/15 (土)
参加費
無料



第9回 持続可能な農村地域を考えよう

農家ハンター☆サミット

日時: 令和2年2月15日(土)午前 10 時～16 時 30 分
会場: 熊本学園大学 14 号館 大ホール

『世界のSDGs&ジビエ最前線』

産(民間企業)×学(教育・研究機関)×官(国・地方自治体)×民間(地域住民)と一緒に学び考える研修会です。参加費無料で大学生、高校生、一般市民にも参加いただける催しとして企画しております。

■当日プログラム

10:00 第一部 ジビエ最前線

「ジビエの魅力&可能性」
クワカミエリチン 代表 今川 昌弘

★大学生ジビエプロジェクト 発表×2

★高校生×農家ハンタープロジェクト 発表

12:00 ジビエ試食会
ランチ

13:00 第二部 SDGs最前線

①「SDGsで自分を考える。未来が変わる」
株式会社 京都府観光・観光産業局
環境文化・観光・観光産業 川島 昌弘

②「世界が変わるサステナブルな取り組み」
農産・加工・流通・消費の連携 川島 昌弘

③「SDGsパネルディスカッション」
株式会社 京都府観光・観光産業局 川島 昌弘

13:30 第三部 農家ハンター最前線

④「イノバカと地域の未来」
農産・加工・流通・消費の連携 川島 昌弘

14:30 閉会



農家ハンター 発表

参加申込み方法 (事前登録制)

kumamotohunter@gmail.com
Facebook/ または
FAX:0968-51-4240(受付時間18時)

QRコードを読み取って
フォームより入力する

主催 くまもと☆農家ハンター 熊本学園大学 経済学部 境研究室
後援 熊本県 熊本日日新聞 くまもとジビエインソニアム UDC2019 Code for Kumamoto
チャン/ス内には就労環境はございません。また、メディアの取材が入りますので、予めご了承ください。
ご予約は kumamotohunter@gmail.com まで実行委員会事務局まで

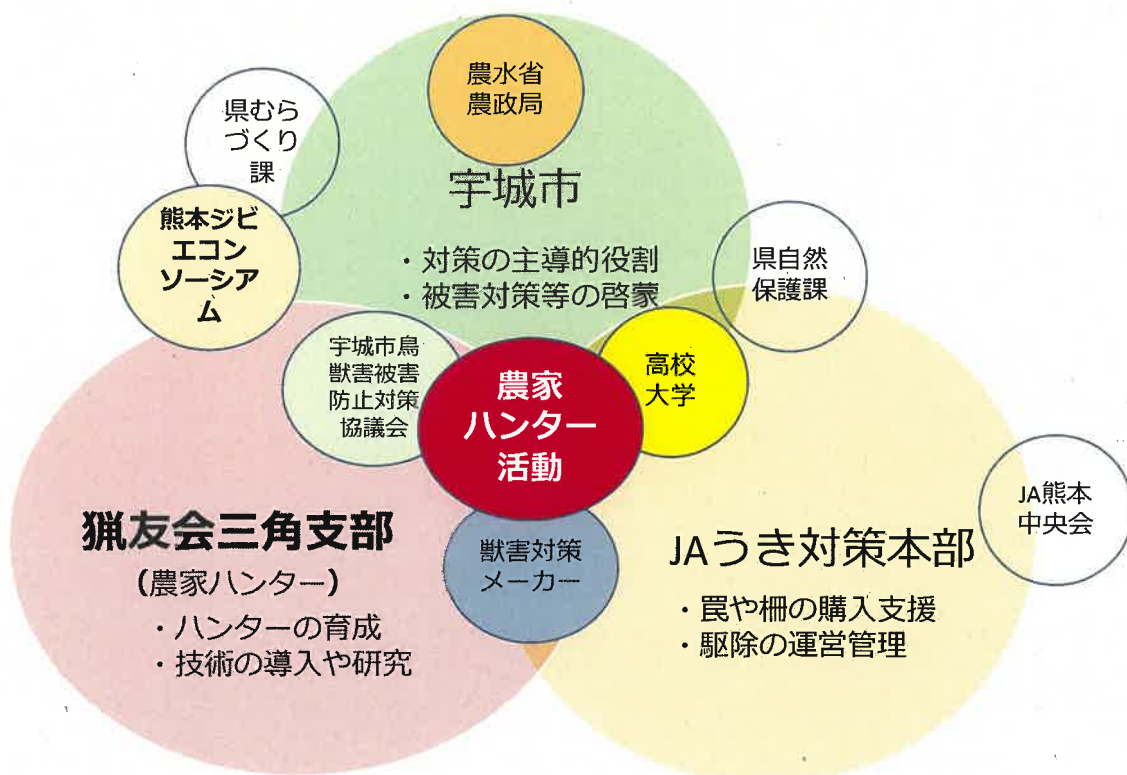


【ヒト】地域で広がるプレイヤー主体の対策

農家×林業家×**猟師** = 山を守るシカ対策



積極的にハブとなり産学官が連携した取組みに



サイバー農家として生の情報を発信し続ける

公式ホームページやSNS、動画、メルマガをフル活用



くまもと☆農家ハンターとは

イノシシ被害から「自分たちの地域と畑は自分たちで守る」
脚本の若い農家有志の集まりです。

「もう農場やめようって思うとたい...」
2016年2月、イノシシ被害のショックから
諦念をすったおばあちゃんの一羽が始めました。
壁に下りてきたイノシシは、佐賀の安心安全をおびやかす状況にな
っています。そこで地域を災害から守る活動隊活動のように、鳥獣害
害から地域を守り、被害による農産物の損失を最小限に抑え、手を動かすこと
イノシシ被害の活動を始めるに至りました。
「鳥獣害で苦しむ農家や地域の希望の裏にない」という気持ち
を元と「くまもと☆農家ハンター」を立ち上げました。



YouTube



情報発信 メールマガジンで常にプレゼン

そもそも二年くらい前から「農家ハンターの事を国連でプレゼンしたい!」と
豪語していますのでここで満足したり、調子に乗ったりする暇はありません。笑

ただ今まで不思議となかったこの活動が多くの人に知ってもらえるきっかけになったり、
地域の希望の☆となる若手農家が立ち上がるきっかけになるため、こういう機会に賞してい
ただけることは本当にありがたくプラスにしかありません。

今後も

微力でも無力ではない

一人の100歩より 100人の一歩

を目指して、活動を続けていきますので引き続き応援よろしくお願い致します。

それでは2/15 @熊本もしくは 2/20 @農水省でお会いしましょう!

最後まで読んでいただきありがとうございました。

(有)宮川洋閣 三代目社長
くまもと☆農家ハンター
宮川でした。

ご感想やご連絡もいただくとスーパーうれしです。

追伸

あ、ちなみに発売になったばかりのイノシシさんがゴロゴロ入ったジビエカレーを食べて御
祝いしてもらっても喜びます。何卒!



農家ハンター通信

月2回配信 (現在32号)

写真付きメールマガジン



思っても伝えなければ
思わなかったことと同じ

農家ハンター活動に対する多面的な評価



自分目線より 第三者的評価を重視

評価



○イノシシ被害に苦しむ農家の苦境を見かねた若手農家が自ら立ち上がって地域と畑を守るために2016年から始めた活動。県内の農家が約100人参加。箱ワナなどの購入資金はクラウドファンディングで調達。行政、企業などと連携し、ICT技術を積極的に開発導入、農業とイノシシ対策を両立させている。営農だけでなく地域住民の暮らしの上でも深刻化している獣害を、若手の農家自身が解決しようと取り組みを始めて成果を上げ、地域に波及している。

○イノシシ捕獲→埋立 から、ジビエ活用による事業化へと舵を切り、令和元年にジビエとしての解体加工・食肉処理施設を立ち上げた。クラウドファンディングで資金を獲得し、ICTを駆使しながら効率的に連携して捕獲できるようにもしており、こうした時代をとらえたアプローチはこれからの農業にとって非常に重要なポイントである。駆除するだけでなく、イノシシの餌となる耕作放棄された柑橘類の伐採や、残渣の放棄防止など、イノシシを里に來させない環境づくりにも努力。

○生物多様性と地域の維持で国連の持続可能な開発目標(SDGs)の優良事例にも紹介されているが、人と野生動物の境界をキチンと維持するためには、営農の持続と耕作放棄樹園の解消による地域の活性化しかないと考えている。

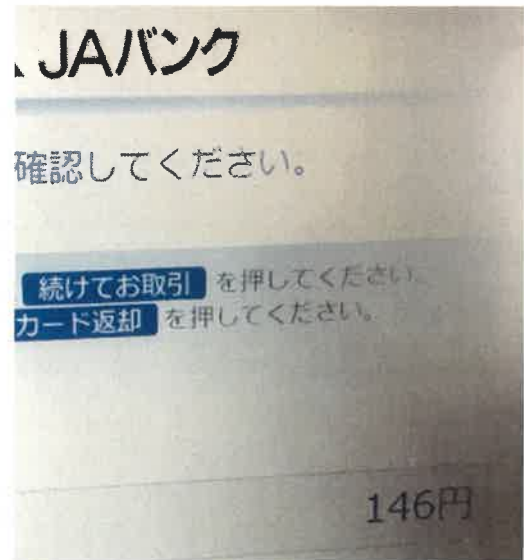
○生きものを処分するのはそれが害獣であったとしても心痛むことであり、ハンターの方も心に傷を負っている、ということだが、それをやらねば地域の農業が守れない、という決意があるからできることである。またこの活動を通じて、若手農家が「地域に役立っている」と評価され、地域の担い手育成にもつながっている。

○高校や大学でも授業・講義をしており、イノシシの骨を使ったラーメンを高校生と開発し、今後店での本格提供も予定されている。このように、食農教育でも実績を積み重ねている。

以上の点が評価され、特別賞に決定した。

しかし、何一つ簡単なことはなかった

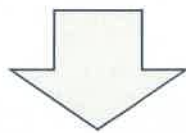
■ 本業と地域活動の両立



活動の事業化の背景と目的

持続可能な活動にするため

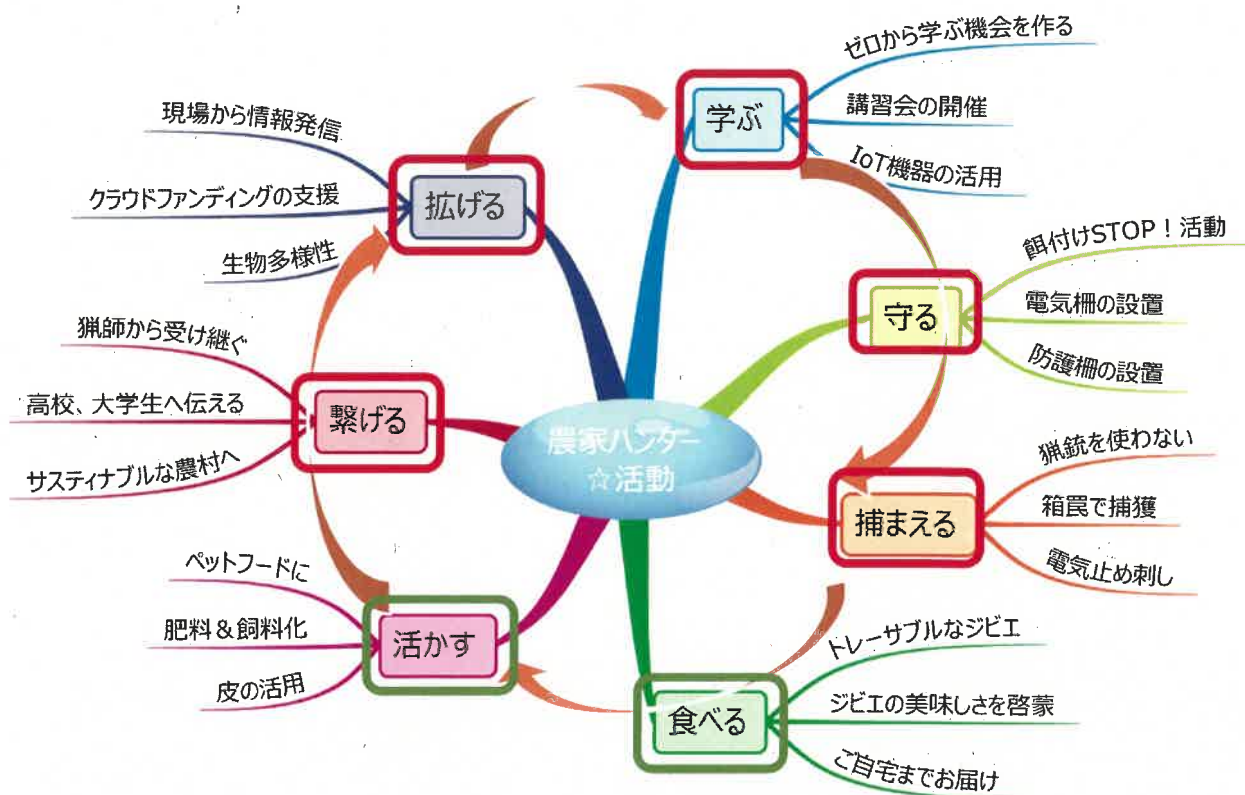
他地域にサービスを展開していくため



ビジネスの力（事業化）が必要

スピード×ソリューション×コミット

農家ハンター【2.0】が目指すサステナブルモ



株式会社イノPの事業体制

【定 款】

第1章 総 則

(商号)

第1条 当社は、**株式会社イノP**と称する

(目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- 1、農産物、ジビエの生産及び加工販売
- 2、農作業の受託や管理作業
- 3、地域の担い手となる農家ハンターの育成事業
- 4、鳥獣対策に関するコンサルティング等の支援事業
- 5、野生動物を保護・管理するための機器の開発と販売
- 6、前各号に付帯する一切の業務

【創立】平成31年1月29日 令和元年設立 8月1日株式会社化

【資本金】 100万円

【資金調達】 熊本第一信用金庫、熊本県起業支援センター

【顧問税理士】 税理士法人C&A (熊本市)

【顧問弁護士】 h&パートナーズ法律事務所

【所在地】 熊本県宇城市三角町戸馳397 (有)宮川洋蘭内)

【連絡先】 TEL 0964-54-4004 FAX 0964-54-4008

<https://farmer-hunter.com/> メール kumamotohunter@gmail.com



代表取締役 (宮川)

事業総括 発信



取締役 (稲葉)

講習 技術開発



施設長 (井上)

ジビエファーム



会計 (水木)

事務、会計等



解体、調理 (香)

事務、会計等

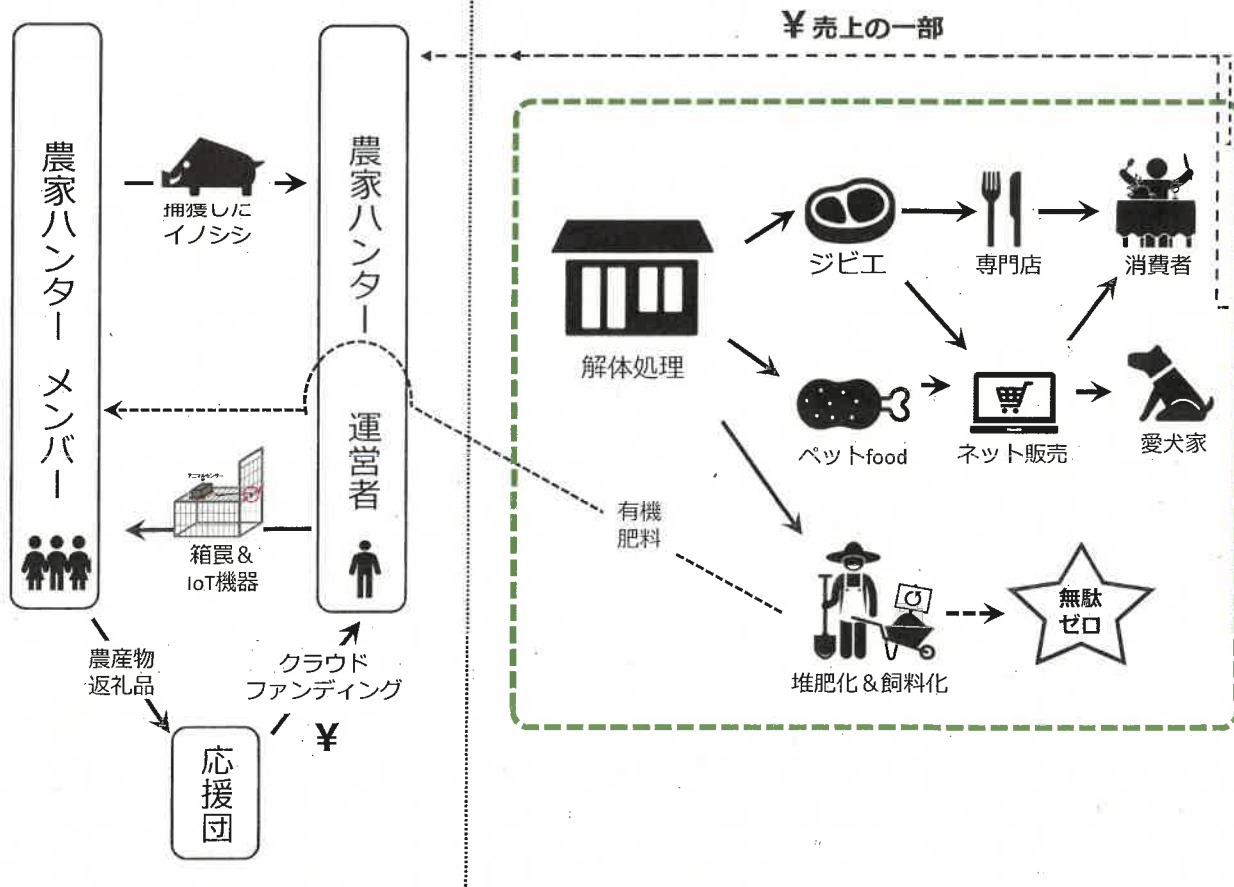


特別顧問 (山本)

猟友会、技術指導

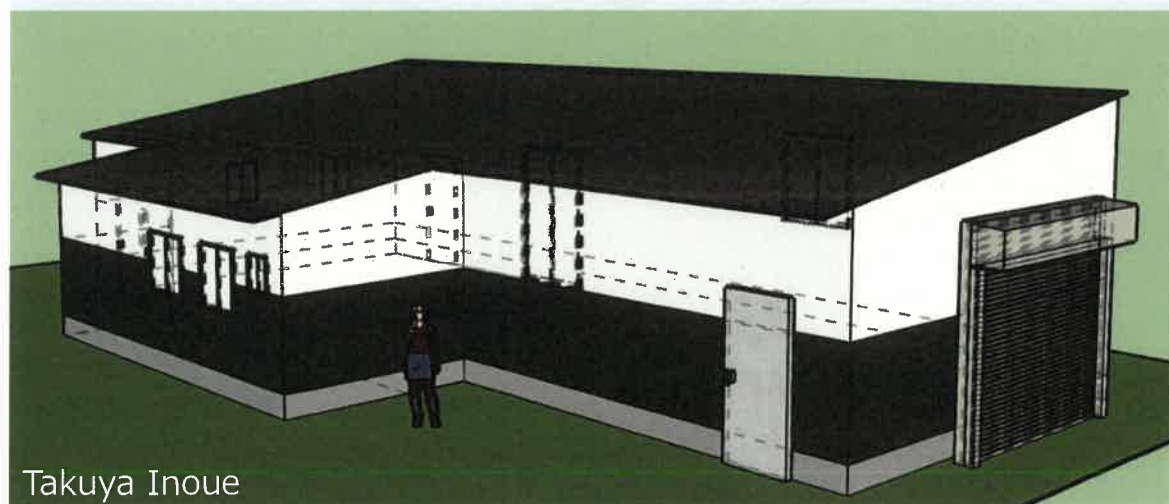
農家ハンター活動

株式会社イノPの事業



民設民営なジビエ施設建設のための資金調達

2019年10月ジビエファーム完成 → ジビエの供給体制構築



Takuya Inoue

1次処理施設と設備 3,000万円

建設費3,500万円

融資金額 合計4100万円

2次処理設備導入費 500万円

施設運営費等 500万円

土地代 0円

土地代 0円

土地代 0円

土地代 0円

・県起業支援センター 2,000万円

・農林水産省 918万円

・宇城市 460万円

・宇城市 460万円

・宇城市 460万円

・宇城市 460万円

2019年11月 農家ハンタージビエファーム完成



農家ハンター☆ジビエファームの特徴



クマモト☆
農家ハンター

国産
ジビエ
認証

野生肉処理場

自家用肉

各種認証の取得 安全へ投資

トレーサブル ICT活用

処理法の統一 箱罠&放血

残渣の堆肥化 農家ならではの

全国のジビエ施設300～600か所

捕獲したイノシシの数%しか活用されていない→フル活用



農家ハンター 運営者

農家ハンター メンバー

箱罾 & IoT機器

クラウドファンディング

農産物返礼品

¥ 設備投資

畑に還元

捕獲したイノシシ

ジビエファーム

内臓

皮

美味部位

赤味部位

骨

堆肥 & 飼料

革製品

ジビエ

ペットFOOD

保護犬

イノシシ、シカの減容化に成功

バラシ不要、米ぬか不要、移動可能、5時間でパウダーに



ジビエの魅力を伝えるために

